九月定例会の主な内容

第二回（九月）定例会は、九月十四日に招集され、十月十四日までの三十一日間にわたり開催しました。
この議会では、平成二十二年度の一般会計決算議案等三十六件と議員提出議案一件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。
また、二十人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。
この議会の主な内容を紹介します。

一般質問

市長が目指すまちづくりは

問　市長が目指すまちづくりについて、鉄道高架やエコなど手法が先行し、具体的な目的が見えないと考えるが、市長が考えるまちづくりの具体的な方向性は。

答　ＪＲ線により市街地が分断されている状況を解決するために提案されたものが鉄道高架事業を中心とした沼津駅周辺総合整備事業である。これにより、南北交通が改善されるとともに、鉄道跡地や高架下スペースなどの新たな空間が生まれる。この空間の活用については、広く市民の意見を聞きながら具体的な導入機能を考えていきたい。また、エコのまちづくりについては、まちなかに自然をふやすことや、持続可能なエネルギーの活用なども検討すべきだが、市民の意識にエコを根づかせ、ライフスタイルを変えることにより、低炭素社会を実現したいと考えている。いずれにしても、まちづくりについては、市民や議会と議論をしながら進めていきたい。

各種計画の課題と改善の取り組みは

問　本市では総合計画を初め多くの計画が策定されている。これらには、縦割り行政になりやすい、総括的な把握が難しいことなどの課題もあると思われるが、この点についての認識と改善策は。

答　市政の推進に当たり、総合計画を最上位に位置づけ、体系的な考えのもとに具体的な事業計画等を策定しているが、細分化された行政課題や行政計画の推進に当たっては、プロジェクトチームや庁内検討会の設置などにより、全庁的に情報を共有し、横断的な施策の検討、展開を図っている。各種計画や個々の事業の進捗状況の把握は、プロセスマネジメントの中で定期的に進捗管理及び評価を行っている。今後、新たな計画策定や事業推進に当たっては、より明確な進捗管理や評価が図られるよう、具体的な数値目標を掲げるなどの工夫に努めるとともに、ホームページ等を通じた情報発信に努め、わかりやすい市政情報の提供による協働のまちづくりを推進していく。

沼津駅南北自由通路の実現は

問　新展示イベント施設を含む東部コンベンションセンターが数年後に完成するなど、交流人口の拡大が見込まれ、これに伴い沼津駅南北の回遊性を高めることが求められるが、駅南北自由通路の実現に向けた対応状況は。

答　沼津駅付近における歩行者の回遊性向上は中心市街地の活性化に寄与するものであり、本市は、抜本対策である沼津駅鉄道高架事業の推進を、事業主体である県とともに取り組んでいるところである。しかし、高架化完成までは長期間を要するため、暫定的な南北自由通路の可能性について、他市の事例などの情報収集を引き続き行っているところである。

▲沼津駅周辺の南北回遊性向上を